

Q4 その他、ご意見・ご要望等

このような調査についてForm等の媒体を使っていただけるとありがたいです。
スペース的にWordでは記入しにくい部分があります。

様々な取組の案内を頂きながら、学内教職員の興味・関心・協力を得ることができなかったのが反省点です。
教職員のスケジュール的なこともあるので、年度の早い時期に計画が示されればもう少しPRできるかもしれません。

来年度は大阪・関西万博のプレ・イヤーとしてインバウンド需要が高まることが予想される。
外国人観光客を意識し、「体験型観光」に焦点を当てて県下全体の現状を把握されたい。
いずれにせよ、観光面においては各自治体単位での取組には限界を感じるため、広域的な取組を検討すべきと考える。

短期、中長期的な視点ごとに取組みを進め、構成団体がメリットを感じられる小さな成功事例を積み上げていくことが持続可能な活動につながると感じている。

一般的に自治体は人的・財政的に官学連携の優先順位が低い傾向があるため、支援があればきっかけが作れる可能性があります。
産官学連携は単年では成果は出しにくい事業ですが学生との協働は、香川県にとって関係人口確保のためにも重要な先行投資であると考えます。